

## 2021 年度にお寄せいただいたご意見について

保護者からのご意見	園としての対応及び今後の取組等
<p>2歳児クラス保護者に新型コロナの陽性者が出たため、クラス休業のおねがいをそのクラスの保護者にのみメールにて行った。</p> <p>前年度のコロナ対応の際の、該当クラス保護者からの苦情を踏まえて、クラスのみ対応したが、他のクラスの保護者より「市のホームページで当園でコロナ陽性者が出たと知ったが、園より連絡がなく我が子のクラスでないかと心配になったので、はっきりさせてほしい」という旨の苦情が寄せられた。</p>	<p>該当クラス以外の園児は登園されていたので、掲示にて早急に連絡がなかったクラスについては該当クラスでないことをお伝えし、よい子ネットでも再度他のクラス保護者に対して同じことを発信。</p> <p>その後の対応について（園児も陽性結果が出たためのお知らせ等）、再度文面を検討し、各クラスごとによい子ネットのメール配信を行ったが、今度はその内容が理解できないとの問い合わせがあった。コロナ感染の伝達については、個人を確定することを予防する観点から、クラス名を明確に出せないこと、逆にコロナの感染という部分で保護者の皆様も神経質になる事案であることを踏まえ、あらかじめどのようなときにどういう連絡を園から行うか等を決めて備えるようにした。</p> <p>その後オミクロン株の感染拡大でコロナ対応がとて増えたため、その都度該当クラスとそうでないクラスへの MAIL 連絡を行うことで、対応が煩雑になることが懸念され、改めて「該当クラスのみ連絡対応」と定め、当園からの連絡がない際は該当クラスにならないことを保護者にお伝えし、その対応を継続しています。</p>
<p>職員が外回りの清掃を行っていた際、西南角の民家の方より、「こでまりの木が、風が吹くたびに自分の家のトタンに当たり、バサバサとうるさいので、家にあたっている部分だけでも切ってほしい」と苦情があった。</p>	<p>直ちにこでまりの枝を短く伐採し対処する。</p>
<p>「駐輪場と園庭の間の扉がきちんと閉められてない、子どもが勝手に出ていくようなことがあれば危ないのではないかと保護</p>	<p>駐輪場の扉及び駐車場の扉については、保護者の責任において開閉をお願いしており、入園の際また年度替わりの時などもお便りに記載し、度々お願いをしています。しかしながら、ご指摘いただくような場面があるという事で、改めて扉に注意喚起の看板を取り付け</p>

<p>者よりご指摘いただく。</p>	<p>ご協力を呼びかけました。</p>
<p>夕方のごみ捨てに西側の駐車場へ職員が出たところ、向かいの住民の方に呼び止められ、「車のライトを消してもらえますか。何度かあり、家に光が入って迷惑だ。」と伝えられた。</p>	<p>その場で職員が確認すると、駐車場に止まっていた車の中の一台がアイドリングをし、ヘッドライトもつけたまま駐車されていたので、ライトを消してもらうようお願いした。駐車場を利用いただく際に、近隣への騒音にならないよう、アイドリングをしないようお願いしていることと合わせて、園だよりで保護者へ注意いただくよう呼びかけた。</p>
<p>夕方、お迎えに来られた際に、「青門の前に車を横付けしている保護者がいるために、園内に入ることができなかった。青門の方に車を止めないでほしい。」と訴えられた。</p>	<p>訴えてこられた母にはその場で謝罪をし、車を止められていた保護者に、車の送迎時は西側の駐車場の利用いただくこと、青門前へ一時的に横付けされる場合は、送迎の妨げにならないようにとお願いする。</p>